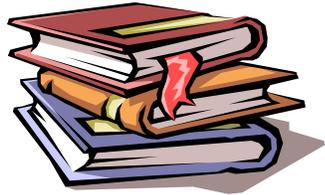


NPO☆Kyoken



通 信

☆特定非営利活動法人 教育研究所(不登校問題研究会事務局)78号 平成18年9月1日発行
〒233-0013横浜市港南区丸山台2-26-20 TEL:045-848-3761/FAX:045-848-3742
URL: <http://kyoken.org/>
E-mail: contact@kyoken.org

毎年行われる夏最大の行事「第16回教師&専門家のための不登校問題研修会」も多くの会員の方々や一般のボランティアのご協力によって無事終了することができました。ありがとうございました。今年も600名を超える専門家や教師の方々に参加されました。

講師の方々は良くこれだけの講師陣と参加者を集められるねと、皆さん一様に感心されておりました。長い間やってきた伝統というものはやはり凄いなと自らも自画自賛しております。これも縁の下で支えてくれる会員の皆様がいるからだと感謝しております。

理事長は席を温めるひまなく全国に講演・研修に飛び立っていた夏でした。

子どもや若者の自立に向けての活動に一層の情熱と智慧を注ぎ込みます。

9月からは秋、教育研究所は宇奈月自立塾、調査研究、短期合宿、カウンセリング、グループカウンセリングに力を注いでいくつもりです。どうぞ、ご理解、ご協力をお願いします。

新連載

この連載文は「教育新聞社・WEBサイト子悩みドットコム」に2005年1月から連載されたもので大きな反響がありました。是非、お読み下さい。

インターネットと若者の心理 第2回

はじめに

牟田武生

高速で大量の情報を素早く、低廉な価格で提供するブロードバンドの普及にともない、インターネットは仕事・個人とも利用者は拡大している。従来の電話・無線・FAXなどの通信と比べようもないほどの便利さを持っている。簡便さ、楽しさ、速さの全てを兼ね備えているゆえ、未知の世界への無限の広がりを感じさせる。

魅力に溢れるものは人々を魅了させ、虜にさせ、やがて依存への道に誘う。まず始めに、若者を依存させるネットゲーム(インターネットを使った双方向性のゲーム、別名オンラインゲーム)について考えることにしよう。

ネットゲームはTVゲームとチャット(インターネット上での文字会話)の同時に楽しむことが出来、ゲーム会社より新しい企画のものがつぎつぎに提供される終わりのないエンドレスゲームだ。しかも、試用期間中の無料のゲームもあり、費用のかかるゲームでも何時間やっても1か月 1500 円位で楽しめる。

好きなゲームを配信している会社にアクセスし、ホームページからゲームをダウンロードし、コンビニで電子マネーを購入した番号を打ち込み、好みのキャラクター(キャラ)が自分の化身になって、冒険し、生活し、仲間を作り、自分のアイテム(価値のある武器や家などの財産や魔法)を増やし、ゲームの中で地位を上げていくことができる。

ゲームによっては、好きな人が出来、キャラ同士の合意によって、教会で仲間を集めて結婚式を挙げ、新居を購入し、新婚生活を楽しみ、仲間とともにパーティーを楽しむことも可能だ。そして、ゲーム会社の企画する大規模な戦いに仲間と共に参加し、手柄を立てれば多くのアイテムを手にすることが出来る。地位が高くなれば、みんなの賞賛を受け、尊敬や畏敬の対象にもなる。また、ゲーム上の私生活で結婚しても上手いかなくなれば、裁判所で築いた財産を分けてもらい離婚することも出来る。現実の生活と変わらない世界がインターネットゲームの世界に存在している。

大規模なゲームでは、少ない時でも数千人が参加し、呼び物の人気のある企画では何万人の人が世界中から参加する。ネットゲームはキャラが主人公だが、動かしているのは生身の人間だから、チャットをしてもコンピュータがあらかじめ用意した返答ではないので、知らない他人とリアルな会話が楽しめる。

不登校になり、家でネットゲームをやっている子どもや若者が最近増えてきている。それらの子どものほとんどが、外出せずに家にひきこもりネットゲームをしている。なかには1日10時間以上ネットゲームをしている人さえいる。

重症のネット依存の子どもの場合、多くは昼夜逆転の生活をし、ゲーム会社のメンテナンスの時に眠り、食事もパソコンの前で摂り、家族の会話に参加しなくなり、親が呼びかけても返事をしなくなる。風呂にも冬では1ヶ月に1回、夏だと1週間に1回位になり、着替えをしないので、すえた匂いが部屋に漂い異様な雰囲気になる。

ひきこもってネットゲームに興じる子どもや若者を理解するため、漫画を読まず、アニメにも興味がない57歳の中年男の私が挑戦した。ネットゲームに嵌まったことのある若者は「アメリカで心理学を教える大学の先生が、ネットゲーム依存を調べるためにネットゲームをやり始め、ミイラ取りがミイラになったから、やめた方がよい」と心配のあまり忠告をしてくれた。

私がやり始めたネットゲームは子ども達に、キャラが可愛くて、子どもや若者に人気が高い韓国製のゲームだ。依存性が高いので、すでにタイ国では禁止になっている。中国でも、ゲームの中で獲得したアイテムを友達同士で“あげる・あげない”をめぐる喧嘩になり、インターネットカフェに放火し、多くの死者を出した。韓国でも多くのゲーム依存の子ども達をつくり出しているゲームの一つだ。

2005.2.4

若者自立塾個別説明会開催のお知らせ

日 程： 平成18年9月16日（土）

時 間： 午後3時50分～午後4時50分まで

場 所： ゆめおおおかオフィスタワー内
ウィリング横浜122号室

（京急、横浜市営地下鉄上大岡駅徒歩1分） ※自立塾については 財団法人 社会経済生産性本部 若者自立塾支援センター

<http://www.jiritsu-juku.jp>をご覧ください。お申し込み、詳しいお問い合わせは教研まで

NPO法人教育研究所講演会のお知らせ

講演会は保護者や教師など専門家の理解を深める目的で年間を通じて行っています。

「ニート・ひきこもりからの脱出」

— 脱出した若者から話を聞く —

日程/平成18年9月16日(土) ゆめおおおかオフィスタワー内ウィリング横浜12
2号室

聞き手/傘田 武生 教育コンサルタント NPO法人教育研究所理事長
体験者 自立塾修了生2~3名

人間関係のスキルを十分に身につけることが出来ずに長期間ひきこもる若者が増えている。長期間、不就労不就学を続けるとニートと呼ばれる。その現象は学齢期では不登校と呼ばれ、それを過ぎる年齢に達すると社会的ひきこもりと呼ばれる。

ニートは、小・中学時代の不登校から、高校や大学中退から、浪人生活から、あるいは大学卒業後、就職浪人中に、社会人になったが、会社を辞めた後に、などひと様々だ。

共通することは「対人関係に不安を感じる」「働く自信がない」「自分がどんな仕事に向くのか、あるいは何がやりたいのかわからない」といった気持ちを漠然と抱え、自立することに足踏みする若者達だ。

若者達の体験を真摯に受け止め、その悩み、苦しみ、葛藤を共有出来た時から、親や対応者は本当の子どもや若者支援者になる。

この問題は若者の本当のこころを理解しないと問題は解決しない。

講演会場&スケジュール

受け付け開始 : 13時

第一部 講演 : 13時30分~15時00分

第二部 質疑応答 : 15時10分~15時30分

終了 : 15時30分

参加費 : 1000円 定員 60名先着

★お母さんたちの交流会のお知らせ★

「毎月5~6人が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせていきます。共通する悩みを持つもの同士、気軽な気持ちで、息抜きにでも参加して頂ければいいなと思っています。」 (卒業生の母より)

- ・同時に親の会ミニ図書館を開催。
- ・会員の方ならどなたでも利用可。
- ・不登校やひきこもりに関する本や心理の本等が300冊以上あります。ぜひご利用下さい。予約の必要はありません。



☆インターネット連載☆

下記にご紹介する牟田先生の連載のほか、第一線で活躍させる方々の連載が、無料で提供されています。ぜひ、アクセスしてみてください！

<http://www.konayami.com/index.html>

○教育・子どもの25年史 神戸事件の精神鑑定を読み解く

○インターネット依存からの脱出を現在好評連載しています。

☆NPO教研会員継続手続きのお願い☆

05年度に手続きいただいた、NPO教研の会員資格が、3月末で終了致しています。それにともない06年度も会員となり、これまでと同様に教研の会員として、教研活動を支持支援していただければと思います。

お手続きは同封の郵便振替用紙に必要事項をご記入いただき、年会費5000円をお支払いいただくというものです。(まだ06年度も会員になられてない方だけにお送りしています。)

あるいは、下記の口座にやはり会費5000円をお支払いいただく方法もございます。その場合は、必ずご自身のお名前を入れていただくよう、よろしくお願い致します。

会費納入口座は

横浜銀行 上永谷支店 (323)

(普) 1442815

会員の方には、

○カウンセリング料の割引1万5千円→1万円、

○年5回程度の定期通信の発行

○学習会、講演会などのイベントのお知らせ

○薬のコンピュータ検索

○各検査 ※知能・YG・不安要因・親子関係・エゴグラム等 検査料 各500円(カウンセリングと併用してください)

○教研関連書籍の割引販売

○お母さんたちのミニ図書館の利用

○お母さんたちのおしゃべり会への参加

○宿泊研修、就労体験などへの参加

06年会費は、07年3月末まで有効となります。

グループカウンセリングスケジュール変更のご連絡とお詫び

講師 NPO法人教育研究所 教育コンサルタント 牟田 武生

教育研究所では、今年度の五月から月に一回の割合でグループカウンセリングを行ってきました。

五・六・七月で三回のグループカウンセリングが終了し、九月から第二講座を四回の予定で行う予定でしたが、教育委員会や外部団体で行う牟田先生の講演はどうしても土曜・日曜に開催されるため、今まで牟田先生のスケジュールを調整して講演をお受けしてきました。

そのスケジュールの調整も九月以降非常に厳しくなり、土曜・日曜に行っているグループカウンセリングの日程をどうしても平日に変更せざるを得なくなりました。

いままで当初の予定で考えられていた会員の方には大変申しわけありませんが次のように日程を変更させていただきたいと思います。

◎新スケジュール

不登校、ネット依存の講座（四回完結）

一回目	二回目	三回目	四回目
9月5日（火曜）	10月3日（火曜）	11月7日（火曜）	12月5日（火曜）

時間は午後1：00～3：00です

ネットからの脱出講座

一回目	二回目	三回目	四回目
9月5日（火曜）	10月3日（火曜）	11月7日（火曜）	12月5日（火曜）

時間は午後3：30～5：30です

※今までのA講座（不登校・ひきこもり）B講座（ネット依存）は不登校、ネット依存の講座となります。

※いずれの講座も講座受講希望者が少ない場合は講座を開かない場合がありますのでご了承ください。

※来年度から行う第三講座の開催予定は未定です。

予定が決まりましたらお知らせします。

グループカウンセリング 申込書

講座名	不登校・ネット依存の講座	ニート脱出の講座
保護者名		
本人名		
年齢・性別	才	男・女
もしあれば在籍校		
ご住所	〒	
電話番号	()	-
F A X 番号	()	-

※費用は一括前納となりますのでご了承ください

※ご夫婦での参加も可能です。参加されるときにご連絡ください。

※お申込みはF A Xまたは郵送にて御願います。

F A X 番号 045-848-3742

何かご質問等がありましたら、下記までご連絡ください

N P O 法人教育研究所

〒233-0013

神奈川県横浜市港南区丸山台2-26-20

電話 045-848-3761